



2023-24 年度 ロータリー賞受賞に関するご報告

2024 年 8 月 6 日

国際ロータリー第 2700 地区
ロータリークラブ会長 各位

国際ロータリー第 2700 地区 ガバナー 野崎 千尋
同 直前ガバナー・地区行動計画推進リーダー 吉田 知弘

謹啓 各位には、平素よりロータリー活動にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、過日、国際ロータリー事務局より直前ガバナー宛てにメール速報があり、2023-24 年度ロータリー賞受賞クラブの報告、並びにその祝意をお伝えいただきました。

この速報によりますと、当地区レギュラークラブ全 60 クラブのうち、43 クラブがロータリー賞を受賞されたとのことです（受賞クラブ割合：72%）。受賞クラブには、近くクラブ宛てにその伝達の通知がされますが、その前に、地区より全てのクラブの皆様へ感謝をお伝えしたく、本書により当地区全体の受賞状況をお知らせすることといたしました。分けても、2023-24 年度においてクラブの活動をリードされた各クラブ直前会長をはじめ、2023-24 年度クラブリーダーの皆様方に深甚の感謝を申し述べたく存じます。

ご案内のとおり、ロータリー賞（2024-25 年度より「クラブ優秀賞」）は、クラブに授与される最も重要な賞であり、クラブセントラルへの目標の登録とその達成が授与の指標とされます。当地区では、2023-24 年度重点取組事項の一つとして「全クラブロータリー賞受賞」を目標に掲げ、各クラブに奮起を促しました。全クラブ受賞には至らないものの、これまでの取組状況に照らし合わせてみると、全クラブがクラブセントラルに目標を登録され、かつ、その 7 割余りのクラブが目標を達成されたことは、それ自体が驚嘆すべき成果であります。ご尽力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

さて、見事に受賞されたクラブはもとより、今一步及ばなかったクラブにも、ロータリー賞を目標として邁進されたプロセスがあり、そのためにクラブの知恵を集め、役割を分担し、それぞれの持てる力を効果的に組み合わせ、結束して目標達成に取り組む経験をなされたはずで、この経験自体が極めて意義深いものであり、受賞の成否は飽くまで結果にすぎません。受賞されたクラブは、是非ともその成果を今後の活動の糧とされ、当年度も必ず「クラブ優秀賞」を受賞されてください。今一步力及ばず、惜しくも受賞を逃されたクラブは、今回の取組を通じて培われた経験知を活かし、当年度こそ「クラブ優秀賞」を受賞していただきたいと思います。

現在のロータリーでは、複数年度をパッケージとして捉えることにより、クラブの活動をより効果的なものとし、ロータリーの魅力を高める努力を推奨しております（「3 年間目標」プロジェクト）。単年度の成果は飽くまでマイルストーンにすぎません。よい結果はもちろん、そうでない結果も、そのプロセスで培われた経験知とともに確実に次へと受け渡し、複数年度を通じた取組の中に活かされることにより意義あるものとなります。試行錯誤により獲得された経験知が次へと承継され、次のリーダーによって活かされることが最も重要なことであると確信します。

このことを心に銘記しつつ、皆様とともに受賞されたクラブをお祝いし、全てのクラブの努力に感謝したく存じます。皆様、引き続きロータリー活動になお一層の御尽力を賜りたく、宜しく願い申し上げます。

謹白